公共交通での旅【島根県編】

お久しぶりです。中国運輸局交通政策部　北川です。
車を運転しない（できない？）私が、公共交通で旅した場所をご紹介します。

第一回目は島根県飯南町です。

５月某日（日曜日）。
前日、帝釈峡を観光し、三次に宿泊。夕食には地元のお店で「わに」などの郷土料理を楽しみました。すっきり目覚めた私は、三次ロイヤルホテル前を 7：04 に出発するバスで一路飯南町へ。

歴史街道 54 を北上し、8：26 に終点である道の駅とんばら（花栗口）に到着。全国でも珍しくホテルが併設されている道の駅です。お店は開店前だったため、窓から中を覗き、ジェラート屋さんがあることを確認。
折り返しのバスに乗車し、交通結節点となっている赤名で下車。まずは道の駅　赤来高原を訪問。飯南町の特産品が多く売られており、観光情報も豊富。道の駅にあったパンフレットを参考に、赤穴八幡宮と銀山街道をぶらりすることに。
赤穴八幡宮は、道の駅から歩いてすぐの高台にある神社。境内には二本の大杉と「銀杏と杉の連理」があり、静謐な空気で満たされていました。鳥居前で振り返ると赤名の街が一望できます。

八幡宮を後にし、ちょうどぼたん祭り開催中だった赤名観光ぼたん園を眺めながら銀山街道へ。銀を運んでいた時代のことを想像しながら、ぶらぶら歩いていると、おしゃれな洋菓子屋さんを発見しお土産を購入。また、町営バスの車庫は、かつて鉄道のレールとして使われていたものを活用していたとのこと。時代の流れを感じます。

昼食に向かうため、赤名駅へ。ここにはバスの待合施設があり、よい環境でバスを待つことができます。施設のお掃除などを長きにわたり担っている女性と、バスが来るまでの間におしゃべりに花を咲かせました。

赤名から飯南町営バス（道の駅とんばら行き）に乗り、佐見権現で下車。ランチは奥出雲そば処 一福です。名物の舞茸天とおそばを楽しみました。

再びバス（道の駅とんばら行き）に乗り、道の駅とんばらを目指します。途中、琴引ビレッジなどの楽しそうな場所があるのを見ながら終点に到着。まずはすぐ隣にある大しめなわ創作館にてしめ縄について学び、しめ縄ストラップを購入。

その後は、看板で見かけた頓原天然炭酸温泉に向かうことに。バスで近くまで行こうとするも時間が合わなかったため、徒歩で行くことに。人も車もいない空間を楽しみながら 30 分で到着。ここのお湯は日によって色が変化するとのことですが、この日は無色透明で柔らかなお湯でした。

さっぱりした後は、再び 30 分歩いて道の駅に戻り、朝チェックしていたジェラート屋さんへ。地元の食材を使っている貴重な味でした。

道の駅とんばらを後にして、たたらば壱番地行きのバスに乗車。飯南町から雲南市を経由して帰路に着きます。終点一つ前の「掛合の里」から終点「たたらば壱番地」までは、一つもバス停がない約 10km の道のりをノンストップで 13 分走る、他のバスでは味わえない面白さがありました。

「たたらば壱番地」から高速バスで広島に帰り、この日の旅は終了しました。

【行程表】

7：04　三次ロイヤルホテル前　→　8：26　道の駅とんばら（備北交通）
8：40　道の駅とんばら　→　9：04　赤名上市（備北交通）
11：39　赤名　→　11：56　佐見権現（飯南町営バス）
13：18　佐見権現　→　13：26　道の駅とんばら（備北交通）
16：44　道の駅とんばら　→　17：20　たたらば壱番地（飯南町営バス）
交通費：1,990 円

※備北交通のバス情報は、備北交通ＨＰに掲載の時刻表又は Web の乗り換え案内での検索で調べることができます。

飯南町営バスは、飯南町ＨＰでご覧ください。本記事に記載の情報はいずれも平成 29 年５月時点の情報です。